

にけーしよん



3/7 おもちゃを通してふれあいを!

地域交流センター「プラザじょうへん」で、一本松おもちゃ図書館あゆみくらぶ(宮崎逸子代表)主催による「おもちゃの図書館ミニ学習会」が行われました。おもちゃの図書館全国連絡会世話人副代表の松山明子さんと新居浜市おもちゃ図書館きしゃポッポの大津淑子さん、石川美苗子さんを講師に、約30名の親子が子どもの発達と障害に応じたおもちゃの遊び方・遊ばせ方を楽しく学習しました。

3/8 地域の皆さん、ありがとう!

城辺小学校で、登下校の見守りや絵本の読み聞かせボランティアの方、また総合学習でお世話になった方々など32名を学校へ招いて、日頃の感謝の気持ちを伝える「ありがとう集会」が行われました。子ども達は、お世話になった方々へ感謝状と花束を手渡し、おしゃべりや肩たたきをしたりして、楽しいひと時を過ごしました。



3/13 「やさしく、たのしく、しみじみと!!」ありんこクラブの催し



一本松交流促進センターで、障害児の親の会「ありんこクラブ(宮崎和友会長)」による「第12回ありんこクラブの催し」が行われ、約150名が参加しました。

オープニングには、南宇和吹奏楽部による迫力ある演奏が披露され、続いて鹿児島大学大学院の平川忠敏教授(地域臨床心理学)を講師に、「親のこころ、子のこころ」と題した講演会が開催されました。

平川教授は、障害児を育てている家庭の兄弟、常に親に遠慮して我慢し続けている「きょうだい」への接し方、支援の重要性などについて、ユーモアを交えた語り口で講演されました。

最後に、恒例のじゃんけん大会で催しを締めくくりました。



愛南こみゆ

12/20~2/28 かきの食べ放題!

御荘湾で育てられたカキを広くPRしようと、道の駅「みしょうMIC」で、南宇和観光協会の主催による「愛南のかき食べ放題ツアー」が開催されました。

旬のカキは美味しいだけでなく、グリコーゲンのほか、タンパク質やカルシウム、亜鉛などのミネラル類をはじめ、人間の体に必要な様々な栄養素を豊富に含んでいるため「海のミルク」とも呼ばれています。奥深い御荘湾では、僧都川など5本の川から流れてくる山の栄養分が溜まりやすく餌となるプランクトンが豊富で、濃厚で美味しいカキが育ちます。

ツアーでは期間中、延べ400名の町外観光客が、焼きガキや蒸しガキ、カキ飯、カキ汁など、愛南町で採れた旬のカキを味わいました。



2/21 届け!私たちのハーモニー!愛南コーラスフェスティバル

御荘文化センターで、「第4回愛南コーラスフェスティバル」が開催され、町内から合唱団コスモス、愛南町少年少女合唱団など6団体、町外からは宇和島少年少女合唱団など3団体、計9団体約250名が出演し、それぞれ自慢のハーモニーを披露しました。

3/3 愛南町の最果てを訪ねて!由良衛所



内海中学校1年生19名が、由良半島の先端にある旧日本軍の軍事施設「由良衛所」を訪れました。内海中学校では、毎年1年生を対象に総合的な学習の時間を利用して「地域めぐり」として実施しているもので、渡船で由良半島先端部の磯に上陸、断崖をよじ登って急な山道を歩き、戦争時代の貯水池や発電室、聴音所、砲台跡や兵舎跡などを見学しながら地域の歴史について学習しています。65年たった今でも、風化したコンクリートが残り、生々しい当時の様子を伝えています。生徒たちには、地域の厳しい自然環境と先人の思いに触れることができたのではないのでしょうか。帰りは尾根沿いの険しい山道約5kmを網代地区まで徒歩で帰りました。